

ELPA
ESL-101BT(BK)

取扱説明書
保証書付

乾電池式

LED センサーライト

1W高輝度白色LED×1灯



お客様へのお願い

- この度は弊社商品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。ご使用の前に必ずお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書欄は、「お買い上げ日、販売店名」などの記入を必ずお確かめください。

1 安全に関するご注意

⚠ 警告

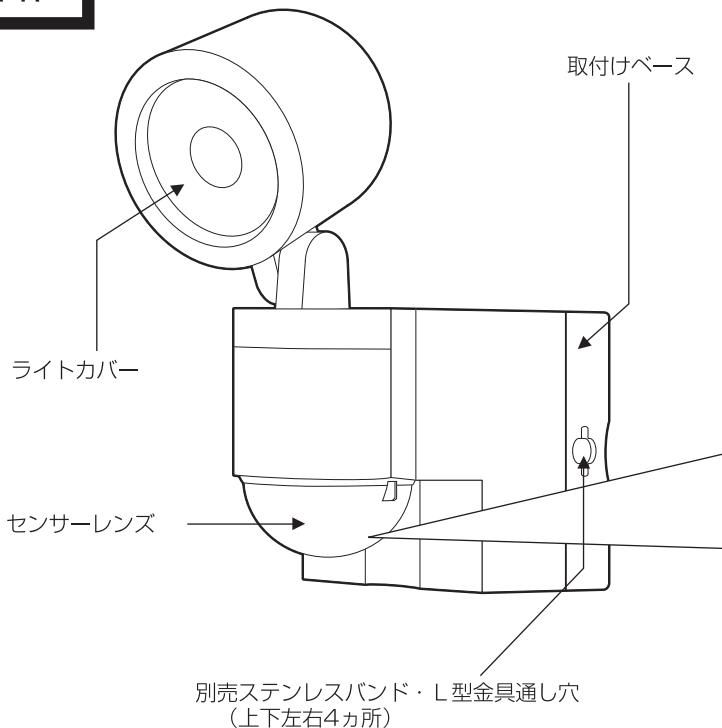
- 取り付けは、この取扱説明書に従って確実におこなってください。
- 本機は防雨構造ですので通常の雨や風には耐えますが、防水タイプではありませんので大量の水がかかる場所や湿気の多い浴室などでは使用しないでください。
- 正面から見て本体が地面に対して斜めになったり逆さまになるような取り付けをしないでください。検知機能に異常をきたしたり、雨水が入り故障や漏電の原因となります。また万一落下しても事故の起こらない場所に取り付けてください。
- 感電の恐れがありますので、乾電池を交換される際は濡れた手で本体に触れないでください。また本体が雨などで濡れている場合も触れないでください。
- 視力を損なう恐れがありますので点灯中のライトを直視しないでください。
- 改造したり分解しないでください。また指定用途以外での使用や、指定以外の取り付け部品を使用しないでください。

⚠ 注意

- 本品は人を検知しライトを点灯させる機能を持っていますが、侵入・盗難を確実に阻止する商品ではありません。発生した損害につきましては責任を負いかねますので予めご了承ください。
- 電池が液漏れ、破裂、発熱等する原因となりますので、下記の事にご注意ください。
 - ・電池の \oplus/\ominus 方向を正しく入れてください。
 - ・新旧及び種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
 - ・長時間ご使用にならない場合は電池を取りはずしてください。
 - ・電池は充電しないでください。
- 電池のアルカリ液が目に入ったり皮膚や衣服に付着した場合は、失明やケガの恐れがありますのですぐに多量のきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けてください。
- LEDの交換はできません。
- 電動シャッター等の電波を利用する機器の近くには取り付けないでください。
※本機や電波機器の動作に支障をきたす事があります。
- 温度の高くなるもの（ガス機器やその排気口など）の上に取り付けないでください。
- お手入れの際は、柔らかい布で乾拭きするか、薄めた中性洗剤を布に含ませ固く絞ってから拭いてください。ベンジンやアルコール、シンナーを使用すると変色、変形、ひび割れする恐れがあるので避けてください。
- 商品の特性上、明るさや光の色にバラつきが出る場合がありますのでご了承ください。
- 仕様及び外観、外装は予告なしに変更する事がありますのでご了承ください。
- 万一、当社の製造上の原因による品質不良、不具合が発生した場合は新しい商品とお取替え致します。
それ以外の責はご容赦ください。

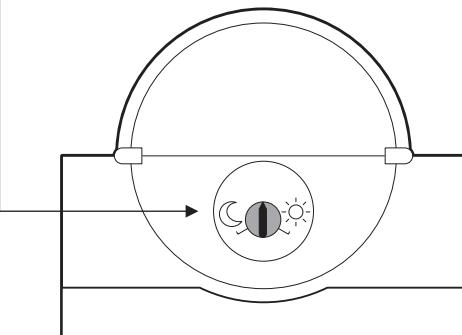
2 各部の名称と付属品

本体



点灯開始照度調整ツマミ

周囲が明るいときにも検知～周囲が暗いときだけ検知させるようにセンサーを調整できます。



※本体を下から見た図

付属品

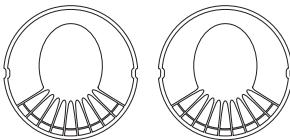
●取付ネジ(2本)



●コンクリート用
スリーブ(2本)



●マスキングカバー(2個)



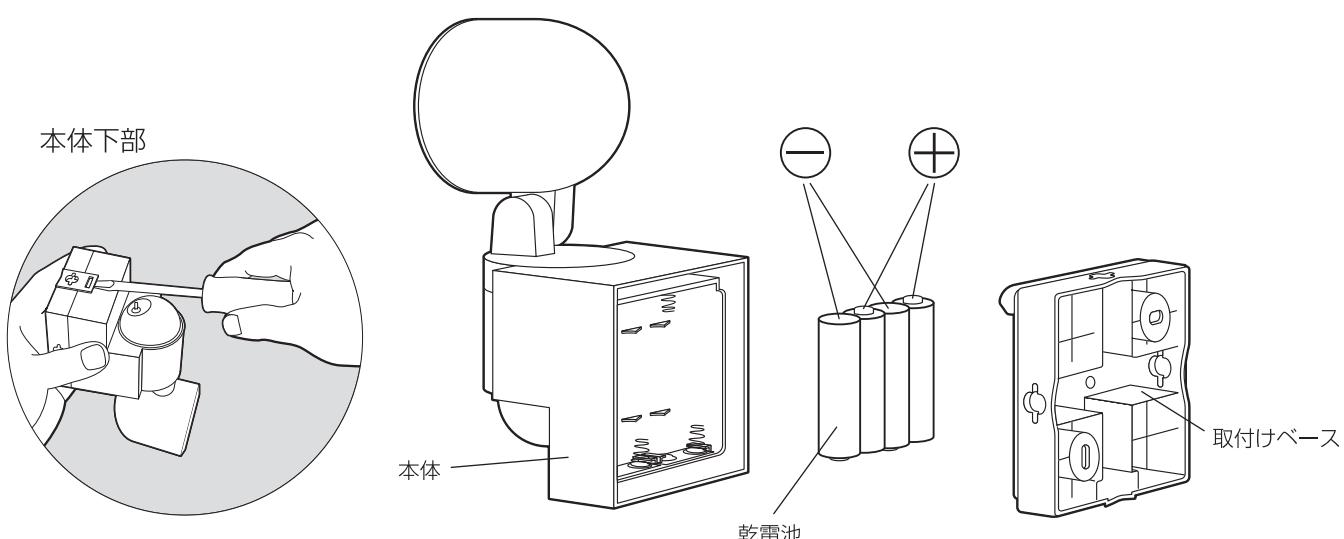
3 電池の入れ方

使用電池:単三形アルカリ乾電池×4本

※電池交換の際も同様の手順でおこないます

- ①本体から取付けベースを外します。
※下図のようにマイナスドライバー等を差し込んで外してください。

- ②電池ケース内の $\oplus\ominus$ 表示を確認して、
単三形アルカリ乾電池を4本セットします。
③逆の手順で元通りに戻します。

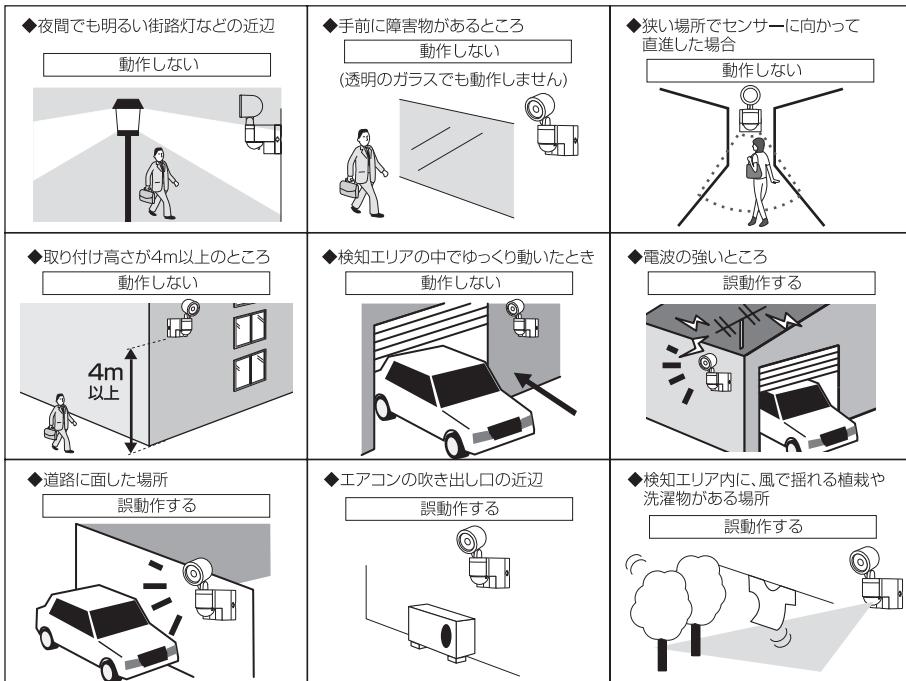


※乾電池をセットすると、周囲の明るさによっては最長で約60秒間、
ライトが点灯する場合があります(ウォームアップ時間)。
これはセンサーライトの初期動作であり故障ではありません。

4 取り付け

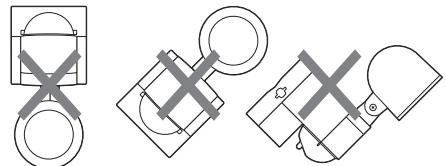
⚠ 取り付け上のご注意

次のような場所に取り付けた場合、誤動作や動作しないことがあります。



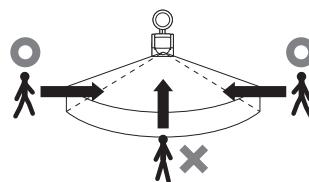
本体を傾けて取り付けないでください

本体が地面に対して逆さまや、斜めや横になるような取り付けはしないでください。検知機能に支障をきたしたり、内部に雨水が入り故障や漏電の原因になります。



センサーレンズを横に見て通るような位置に取り付けてください

本体に対して直進すると検知にくいため、近くまで接近しないと点灯しないことがあります。

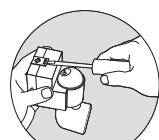


取り付け方法 ⚠ 万一落下しても事故の起こらない場所に取り付けてください。

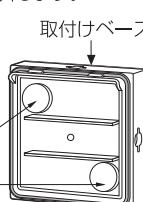
ネジで取り付け

①本体から取付けベースを外します。

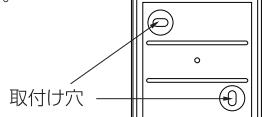
*右図のようにマイナスドライバー等を差し込んで外してください。



②防水カバーを取り外します。

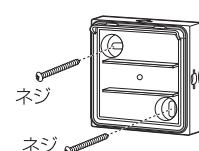


防水カバーを取り外した場所に取付け穴があります。

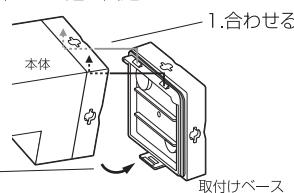


*取付け穴は薄い樹脂でふさがれています。
ドライバー等で強く押すと穴が開きます。

③取付けベースを付属のネジで壁に固定し、防水カバーを再び取り付けます。

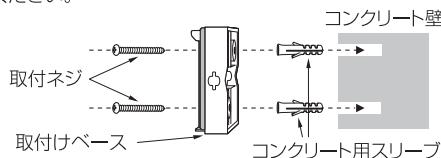


④先に本体上部の内側にある凹部を取付けベースの凸部に合わせ、次に下部をはめ込み固定します。



コンクリート壁への取り付け

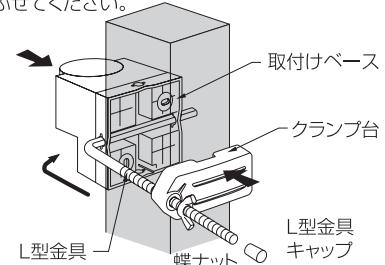
あらかじめドリルで直径6mm、深さ30mmの穴を開け、そこへ付属のコンクリート用スリーブを打ち込んでから、ネジ止めしてください。



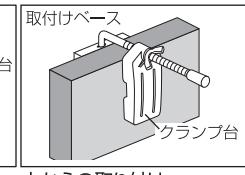
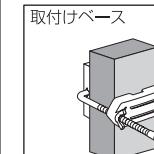
別売クランプによる取り付け (弊社型番ESL-CS)

最小約10mmから最大約100mm幅まで取り付け可能

- ①取付けベースのL型金具通し穴にL型金具を差込みます。
- ②L型金具にクランプ台を通し蝶ナットで締め付けます。
- ③L型金具の余った部分に付属のL型金具キャップをかぶせてください。

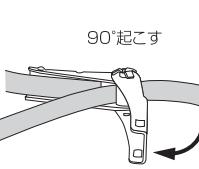
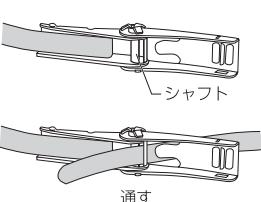
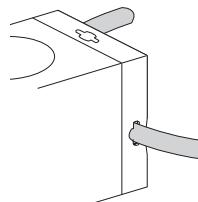


クランプによる取り付け例



別売ステンレスバンドによる取り付け (弊社型番ESL-SB)

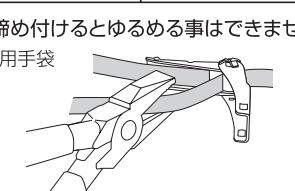
(直径約260mmまで取り付け可能)



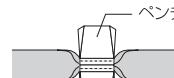
①取付けベースのステンレスバンド通し穴(上下または左右の2箇所)にステンレスバンドを通して下さい。

②バンドを取付箇所(ボルトなど)に巻付け、先端をシャフトの間(シャフトは2枚構成)に通して、バンドにたるみのない程度に張ります。

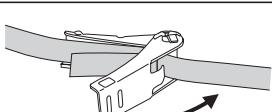
③バンドを適当に張り、ハンドルを90度起こして仮止めします。



④仮止めができたら、バンドの余長をシャフトから3cm程度のところで切断します。ベルト端末は外に出ません。



※図のようにベンチでバンドを2つ折りにし左右に振ると、切断しやすくなります。



⑤ハンドルを反復回転させる(ラチェット機構なのでバンドを巻取る)とベルトはゆるむことなく十分に締まります。



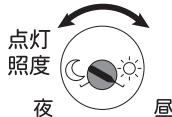
⑥バンドが十分に締まったところでハンドルをベースに重なるまで倒して、ストップバーにかしこんで完了です。

5 動作確認

取り付け終了後、次の要領で動作確認をおこなってください。

①

昼間に動作確認される場合は、「点灯開始照度調整ツマミ」を昼側いっぱいまで回してください。



②

いったん検知エリアの外へ出てライトを消灯させます。その後検知エリアを横切るように歩き、ライトの点灯を確認しながら最適な検知エリアになるようにセンサーの調整をおこないます。



センサーの調整方法は「**6 センサーの検知エリア**」をご参照ください。

③

点灯開始照度をお好みに応じて設定してください。

設定方法は「**7 点灯開始照度の設定**」をご参照ください。

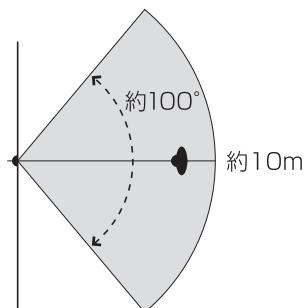
〈動作確認・調整終了〉

6 センサーの検知エリア

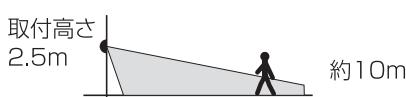
検知エリアについて

- 検知エリアは目安です。気温、服装、移動速度、侵入方向、体温、器具の取り付け高さなどにより大幅に変化します。
- センサーは検知エリア内の温度変化を検知するため、人以外の熱源（動物・車など）が移動した際も検知します。
- 検知エリアの外側でも人より大きな熱源（車など）が移動した場合は検知する事があります。
- センサーに向かって正面方向から接近した場合は、検知距離が極端に短くなります。

【平面図】 検知エリアを上から見た図



【側面図】 検知エリアを横から見た図



*センサーライトの真下は検知できない場合があります。

センサーレンズ可動範囲



左右各約60°

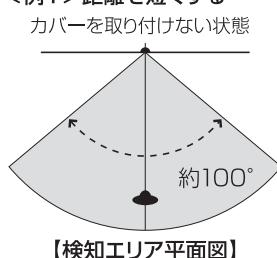
*故障の原因となりますので
60°以上回さないでください。

マスキングカバーの使用方法（検知エリアの調節）

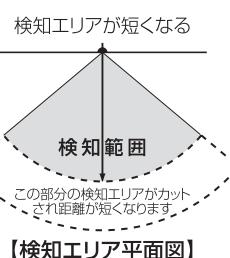
- センサーの検知エリアを狭くしたい時はマスキングカバーを取り付けて調節します。
※マスキングカバーは予備を含めて2個付属しております。

マスキングカバーを取り付けると、カバーで覆われた部分はセンサーが検知しなくなります。
センサーで検知させたい部分だけをニッパー等を使って切り取ります。

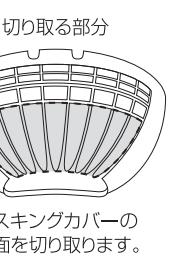
<例1>距離を短くする



【検知エリア平面図】

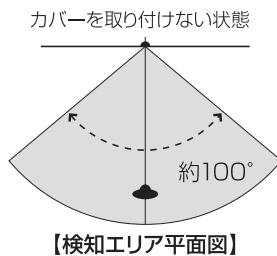


【検知エリア平面図】

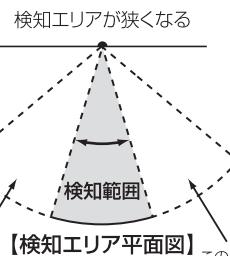


マスキングカバーの
下面を切り取ります。

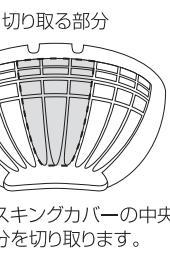
<例2>角度を狭くする



【検知エリア平面図】

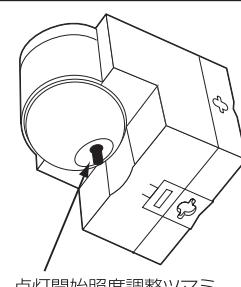


【検知エリア平面図】



マスキングカバーの中央
部分を切り取ります。

7 点灯開始照度の設定



昼間など周囲が明るいときは検知エリアに入っても点灯しないように設定できます。

点灯開始照度設定ツマミを左右に回して設定します。

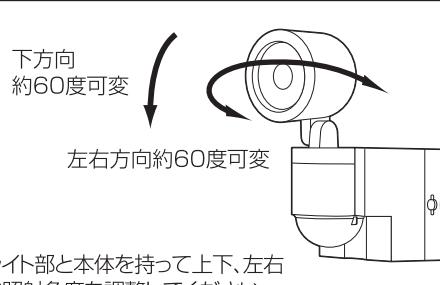
夜だけ点灯

周囲が暗くなつてから点灯させたいときは左にまわして設定します。

昼も夜も点灯

周囲の明るさに関係なく点灯させたいときは右にまわして設定します。

8 ライト部（ライトカバー）の角度調整



下方向
約60度可変

左右方向約60度可変

ライト部と本体を持って上下、左右に照射角度を調整してください。

9 故障かなと思ったら

現象	考えられる原因	処置
ライトが点灯しない	周囲が明るい。 (周囲に他の照明器具がある)	点灯開始照度を「昼も夜も点灯」側に調整してください。 他の照明器具からの明かりが届かない場所へ取り付け場所を変更してください。
	電池の接続方向が間違っている。	電池の $\oplus\ominus$ 方向を正しくセットしてください。
	センサーに向かって直進している。 ※センサーの特性上、正面方向から近づいた場合は検知距離が極端に短くなります。	センサーの検知エリアに対して、検知対象(人など)が横切るような場所へ取り付けてください。
	寒いときや雨降りの時で、人がマフラー・傘などで覆われている。 夏場など周囲の温度と人体の温度が近くなり、温度差が無い。 非常にゆっくりとした速度で検知エリアに侵入した。	センサーは人の動きによる温度変化を検知するため左記の場合などは検知にくくなることがあります。
	検知エリアが遮られている。	ガラスや壁、塀越しには人の動きを検知できません。 検知範囲の調整、もしくは取り付け場所の変更をしてください。
	電池の電圧が低下している。	乾電池を交換してください。
	何らかの物体がセンサーに反応し続けており、点灯時間が延長されライトが点灯したままになっている。	完全に検知エリアの外に出る、検知エリアを調整する、取り付け場所を変更する等の対処をしてください。
	検知エリア内、または周囲に下記のような誤動作をする要因がある。 (例) 他の照明器具の明かり、風で揺れるもの(植木、洗濯物、旗など)、犬や猫などの動物、温風や冷風が吹き出すエアコン、ガス給湯器からの熱気、強い無線ノイズ 検知エリアが道路にかかっており、通行する自動車や人に反応している。 風や車両の通行等により、センサーライトを取り付けている柱などが振動している。	誤動作要因となっているものを検知エリア内から取り除く、検知エリアを調整する、取り付け場所を変更する等の対処をしてください。 振動の影響を受けない場所を選んで取り付けてください。
ライトが点灯したまま消えない		
人がいないのに点灯する		

10 仕様

名 称	乾電池式 LEDセンサーライト(1灯)
品 番	ESL-101BT(BK)
検知方式	赤外線受動式
使 用 電 源	単三形アルカリ乾電池×4本
電 池 寿 命	1日に5回点灯させた場合で約9ヶ月 ※乾電池の性能、使用条件により大幅に変わるものがあります。
光 源	1W高輝度白色LED
点灯保持時間	約10秒(固定)
耐 水 性	IPX4(防沫型)
使 用 周 囲 温 度 範 囲	-20°C~45°C
重 量	約148g
付 属 品	コンクリート用スリーブ2本、取付ネジ2本、マスキングカバー2個

11 外形寸法図

